資

4

章

4. ICT の活用を基盤とした教育施策の推進

2030年頃には、第4次産業革命とも言われる、IoTやビッグデータ、AI等をはじめとする技術 革新が一層進展し、社会や生活を大きく変えていく超スマート社会(Society5.0)の到来が予想 されています。

本市では、こうした新たな時代を担う子どもたちが、未来を切り拓くことができるよう、ICT を手段として活用できる力を育み、ICT を活用し、「主体的・対話的で深い学び | の実現に向けた 効果的な授業改善に取り組みます。また、個々の児童生徒の知識・技能等に関する学習計画及び 学習履歴(スタディ・ログ)等を活用し、個々の状況に応じたきめ細かな指導の充実や学習の改 善を図ります。

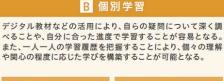
また、長期にわたる学校園の臨時休業措置等が必要となった場合における授業の動画コンテン ツの配信など学びの連続性を担保するとともに、支援を要する児童生徒や不登校児童生徒等の 個々に応じた支援を行います。

さらに、よい教材を蓄積し、共有することによる教員の授業準備時間の削減や、教材研究の充 実による教員の指導力の向上など、あらゆる教育施策の充実に向け、ICT の積極的な活用を進め ます。

ICT を活用した学習場面

挿絵や写真等を拡大・縮小、画 面への書き込み等を活用して 分かりやすく説明することによ り、子供たちの興味・関心を高 めることが可能となる。 A1: 教員による教材の提示 画像の拡大提示や書き込み 音声、動画などの活用 B3:思考を深める学習

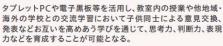
A 一斉学習



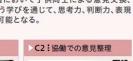








C 協働学習















出典:文部科学省「ICT を活用した指導方法(1人1台の情報端末・電子黒板・無線 LAN等) ~学びのイノベーション事業実証研究報告書より~」

考 資 料

計 画

第 4

遠隔教育の分類



A1 遠隔交流学習

離れた学校の児童生徒同士が 交流し、互いの特徴や共通点、 相違点などを知り合う。



A2 遠隔合同授業

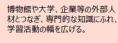
他校の教室とつないで、継続的 に合同で授業を行うことで、多様な意見にふれたり、コミュニケ -ション力を培ったりする機会を 創出する。



教科等の学びを深める遠隔教育

ALTとつないだ 遠隔学習

他校等にいるALTとつないで 、児童生徒がネイティブな発 音にふれたり、外国語で会話 したりする機会を増やす。





B4

免許外教科担任を **B3** 支援する遠隔授業

免許外教科担任が指導する 学級と、当該教科の免許状を 有する教員やその学級をつな ぎ、より専門的な指導を行う。



専門家とつないだ 遠隔学習 **B2**



教科・科目を充実 するための遠隔授業

高等学校段階において、学外 にいる教員とつなぐことで、校内 に該当免許を有する教員がい なくても、多様な教科・科目を 履修できるようにする。



室をつないで、不登校の児童 生徒が学習に参加する機会を 増やす。



病弱の児童生徒を支援する遠隔教育 C4

児童生徒の個々の 理解状況に応じて 支援する遠隔教育

個々の児童生徒と学習支援員等

を個別につなぎ、児童生徒の理解 状況に応じて、学習のサポートを行

病室や院内分教室等と教室を つないで、合同で授業を行うこと で、孤独感や不安を軽減する。

個々の児童生徒の状況に応じた遠隔教育

C2

日本語指導が必 要な児童生徒を支 援する遠隔教育

外国にルーツをもつ児童生徒

等と日本語指導教室等をつ なぎ、日本語指導の時間をよ

り多く確保する。



出典:文部科学省「遠隔教育システム活用ガイドブック第1版」